

小野川不動滝

近くの百貫清水を水源とする小野川不動滝は、落差 25 メートル、1 日当たり 6,000 トンの流量を誇る大瀑布です。平安時代（794～1185 年）から、この滝は清めの水の水源であり、修験道の行者にとって修行の場でした。修験道は山岳崇拝に基づく日本古来の民間信仰の一つで、肉体的な苦行に耐える修行をします。修験者は、身を切るほど冷たい滝水に打たれながら仏教の神、不動明王に礼拝して祈りを捧げます。滝の傍らには近世の小さな祠が建てられています。

小野川不動滝はトチノキ、サワグルミ、ミズナラの森に囲まれています。

滝から冷たいしぶきが飛び散るので、夏に涼をとる人気のスポットです。冬には滝が氷結して青みがかって見えます。スノーシューを履き、ガイドを同伴すれば滝のそばまで近づけます。